

熊本市 感染症発生動向調査 速報

現在の流行状況

感染性胃腸炎に気をつけましょう！

熊本市における第42週(10月12日～10月18日)の定点医療機関あたりの感染性胃腸炎患者報告数は、6.00人(定点数16ヶ所、患者報告数96人)で、前週(4.38人)より増加しました。冬場にはノロウイルスなどによる感染性胃腸炎が流行しますので、流水と石鹸でていねいに手を洗う・食品はきちんと加熱して食べるなど、感染予防に努めましょう。

マイコプラズマ肺炎の報告が増えています。

熊本市における第42週(10月12日～10月18日)の定点医療機関あたりの患者報告数は、2.60人(定点数5ヶ所、患者報告数13人)となり、前週(1.40人)より増加しました。小児や若い人の肺炎の原因としては、比較的多いものの1つです。一年を通して見られる感染症ですが、冬にやや増加する傾向があります。

【マイコプラズマ肺炎について】

- 感染経路：患者の咳のしぶきを吸い込んだり、患者と身近で接触したりすることにより感染すると言われています。
- 症状：発熱や全身倦怠感(だるさ)、頭痛、痰を伴わない咳などの症状がみられます。咳は熱が下がった後も長期にわたって(3～4週間)続くのが特徴です。
- 治療法：抗菌薬(抗生物質)によって治療します。
軽症ですむ人が多いですが、重症化した場合には、入院して専門的な治療が行われます。
長引く咳などの症状があるときは、医療機関で診察を受けるようにしましょう。
- 予防方法：石鹸を使ってていねいに手洗いをしましょう。また、患者の咳から感染しますので、咳の症状がある場合には、マスクを着用するなど咳エチケットを守りましょう。

期 間		平成27年 第41週		平成27年 第42週	
		10/5～10/11		10/12～10/18	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	➡	1	0.04	4	0.16
RSウイルス感染症	➡	29	1.81	25	1.56
咽頭結膜熱(プール熱)	➡	3	0.19	4	0.25
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	➡	18	1.13	29	1.81
感染性胃腸炎 ★流行中	➡	70	4.38	96	6.00
水痘(みずぼうそう)	➡	1	0.06	1	0.06
手足口病	➡	15	0.94	11	0.69
伝染性紅斑(りんご病)	➡	23	1.44	18	1.13
突発性発しん	➡	10	0.63	12	0.75
百日咳	➡	0	0.00	0	0.00
ヘルパンギーナ	➡	3	0.19	0	0.00
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	➡	5	0.31	4	0.25
急性出血性結膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目) ★警報レベル	➡	34	6.80	29	5.80
細菌性髄膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎	➡	0	0.00	1	0.20
マイコプラズマ肺炎	➡	7	1.40	13	2.60
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	➡	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	➡	0	0.00	0	0.00